

平成 15 年 10 月 10 日

各 位

会 社 名 長瀬産業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 長瀬 洋  
(コード番号 8012 東証、大証各第 1 部)  
問合せ先 経理グループ統括 長田 孝英  
( TEL 03 - 3665-3103 )

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 15 年 5 月 14 日の決算発表時に公表した平成 16 年 3 月期 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日) の中間期および通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

### 1. 平成 16 年 3 月期中間業績予想数値の修正 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 9 月 30 日)

( 1 ) 連結

( 単位 : 百万円、% )

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 ( A ) (平成 15 年 5 月 14 日発表)	255,000	6,000	2,600
今回修正予想 ( B )	255,000	7,700	2,400
増 減 額 ( B - A )	-	1,700	200
増 減 率 ( % )	-	28.3	7.7
前期 (平成 14 年 9 月中間期) 実績	249,565	6,115	4,432

( 2 ) 単体

( 単位 : 百万円、% )

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 ( A ) (平成 15 年 5 月 14 日発表)	210,000	4,100	1,800
今回修正予想 ( B )	210,000	5,400	1,300
増 減 額 ( B - A )	-	1,300	500
増 減 率 ( % )	-	31.7	27.8
前期 (平成 14 年 9 月中間期) 実績	207,278	3,854	2,838

## 2. 平成16年3月期通期業績予想数値の修正（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

### （1）連結

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成15年5月14日発表）	509,000	11,800	6,000
今回修正予想（B）	509,000	12,600	7,000
増減額（B - A）	-	800	1,000
増減率（％）	-	6.8	16.7
前期（平成15年3月期）実績	503,688	11,284	4,186

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 54円56銭

### （2）単体

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成15年5月14日発表）	420,000	6,900	3,400
今回修正予想（B）	420,000	7,500	4,600
増減額（B - A）	-	600	1,200
増減率（％）	-	8.7	35.3
前期（平成15年3月期）実績	418,004	6,671	1,126

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 35円76銭

## 3. 修正の理由

### （1）中間業績予想

当社単体の業績予想につきましては、利益率の高い電子事業の販売が大幅に伸張したほか、化成品事業も概ね堅調に推移し売上総利益が増加したこと、および販管費削減の効果もあり経常利益では当初業績予想を上回る見込みとなりました。しかしながら、退職給付会計の処理方法の変更（1）により、未認識数理計算上の差異等過年度の退職給付関連費用を一括処理することとしたため、当期純利益は当初業績予想を下回る見込みとなり、上記のとおり修正いたします。

尚、連結業績予想の修正につきましては、主に当社単体の業績予想の修正に伴うものであります。

### （2）通期業績予想

当社単体の業績予想につきましては、株式市況の回復等当社を取り巻く環境はいくぶん景気の明るさを取り戻しつつありますが、依然先行きは不透明な状況が続いております。しかしながら、下期には厚生年金基金の代行部分返上益（2）が見込まれること等から上記のとおり修正いたします。

尚、連結業績予想の修正につきましては、主に当社単体の業績予想の修正に伴うものであります。

( 1 ) 退職給付会計の処理方法変更

未認識債務の償却年数を次のとおり変更いたします。

未認識債務	変更前	変更後
数理計算上の差異	発生翌期から10年均等償却	発生翌期に一括償却
過去勤務債務	発生時から3年均等償却	発生時に一括償却

この変更に伴い、当中間期において、前期までに発生した未認識過去勤務債務42億円を特別利益に、未認識数理計算上の差異82億円を特別損失に計上いたします。

( 2 ) 厚生年金基金の代行部分返上

下期において、厚生年金基金の代行部分過去分返上の認可が見込まれております。これに伴い、代行部分返上益約28億円を特別利益に計上する予定です。

< 業績等の予想に関する注意事項 >

この資料に記載されております業績等の予想数値につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算出しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は業況の変化などにより、この資料に記載されている予想とは異なる可能性があります。

以 上